

彩りと希望あふれる薬剤師の未来のために
～学術大会 in さいたま～



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

9月22、23日の両日、日本薬剤師会学術大会が埼玉県さいたま市で開催されました。

57回目を迎えた今回の学術大会の開会式では、大会長の岩月進日本薬剤師会会長および大会運営委員長の斉藤祐次埼玉県薬剤師会会長のご挨拶の後の来賓祝辞にて、イタリアでのG7文化大臣会合出席されている盛山正仁文部科学大臣に代わり文部科学省を代表して挨拶をいたしました。

昨年10月に文部科学大臣政務官を拝命してから約1年にわたり、科学技術・文化芸術分野を中心に行ってきました公務についてはこれまでブログ等でお伝えしてきましたが、今回の開会式では、ウェブ参加の先生方を含め大勢の薬剤師の先生方に文部科学省と薬剤師の関わりをお伝えできたと思っています。大臣祝辞（代読）では、文部科学省で進めている薬剤師の偏在解消につなげるための養成プログラムや来年度予算要求のことに加え、今年度から始まっています薬学教育モデル・コア・カリキュラムは「薬剤師の未来を彩る」今回の学術大会のテーマに通じるものであることに触れさせていただきました。

2日間の大会期間中、多くの時間を展示会場で過ごしました。今回の学術大会でお披露目された日本薬剤師会の公式キャラクター“ふあるみん”ともコラボしながら、薬連ブースを訪ねてきていただいた都道府県薬剤師会の先生方は元より、出展企業・団体の方々やポスター発表されている若手薬剤師の皆さんとも交流させていただくことができました。また、学術大会に合わせて開催されました14大学の同窓会会場にも回らせていただき、彩り豊かな出会いの時間をいただきました。皆様ありがとうございました。

薬剤師の医療における礎を築かれた石井道子先生の生誕の地で開催されました学術大会での多くの方との触れあいをしっかりと継承し、そして新たな出会いを「未来」に生かし、薬剤師の「彩りと希望あふれる未来」へとつなげてまいります。



学術大会開会式での大臣祝辞代読



ポスター会場・展示会場にて